

## 4. 研究会「講師」からの思い出と祝辞

### 祝 100 回 祝辞に代えて

中村 和子

(第 40 回例会講師 茅ヶ崎市在宅福祉研究所)

「北欧の福祉」といえば「高福祉・高負担」と言われている。私は第 40 回の例会で「北欧の福祉事情」について報告をしたが、その後の知見も含めて祝辞に代えたい。国民は平均して 40%～50% の高い税金を納めているのが北欧の国々である。デンマークに行ったとき、住民に税金負担のことを聞いてみたが、「高負担とは思っていない」との返答だった。国民の納めた税金は、しっかりと国民の生活に活かされているということが実感されているのである。

まず、医療費は入院・手術料とも無料、介護費は、訪問看護師・ヘルパー料とも無料。子供たちの教育費は大学まで無料である。最近は移民も多い現実だが、未来の国

民を自分たちの税金で育てる、という気概が感じられ頭の下がる思いである。

そしてデンマークには、生涯をその人らしく生活していくための「三原則」がある。それは、

1. 生活の継続—今までの暮らしを続けていく、自宅でも施設でも同じケアをする。
2. 残存能力の活用—障害を持っていても残された能力を使って共に生きる。
3. 自己決定—これらのことを他人が決めるのではなく、自分でこうしたいと決めていく。

国民はこの「三原則」を守り、国が保障していることは素晴らしい。日本も学びたいものである。